

第4回 日本TRIZシンポジウム 2008

プログラム 概要

2008. 9. 1. (第3次公表) プログラム委員会 (中川・小西)

第1日 9/10 (水)

第2日 9/11 (木)

第3日 9/12 (金)

注: 青字: 座長、赤字: 討論時通訳

シンポジウム受付開始 (8:30)

シンポジウム受付開始 (8:30)

J, JE, EJ, E: 発表言語、投影言語 (頁右下参照)

主会場、林

主会場、小西&中川

9:00	チュートリアル など 受付開始 (9:30)	9:00	NPO法人 日本TRIZ協会 年次総会 (TRIZ協会会員のみ出席)	9:00	基調講演2 I01 Sergei Ikovenko (GEN3 Partners / MIT、米国) TRIZの開発と適用の将来の方向	9:00
10:00	主会場、奥住 副会場、黒澤 プレセッション チュートリアル (TRIZの基本) I04 堀田 政利 (創造開発イニシアチブ) 体系的技術革新のためのTRIZ	10:00	主会場、堀田-小西 特別講演1 福嶋洋次郎 (松下電器) 松下電器 本社R&D部門におけるTRIZ活動	10:00	主会場、池田 ポスター紹介 C 池田、前古、正木	10:00
11:00	黒澤 慎輔 (産能大) ディスカッションを通じて TRIZについて学ぶ	11:00	ポスター紹介 A 池田、前古、正木	11:00	ポスターとデモ C (7件) 池田、前古、正木	11:00
12:00	昼食 (60)	12:00	ポスターとデモ A (7件) 池田、前古、正木	12:00	ポスターとデモ C (7件) 池田、前古、正木	12:00
13:00	主会場、三原-黒澤 開会 開会挨拶 林 弘弘 (日本TRIZ協会理事長) 基調講演1 I02 Amir Roggel (Intel、イスラエル) TRIZは役に立つか? インテルの教訓	13:00	主会場、片岡-小西 副会場、海野-黒澤 O-9 #38 [宮城TRIZ研] 石井力重 (デュナミス) 中小企業への適用推進法	13:00	主会場、前古 副会場、岡-黒澤/望月 O-17 #24 石濱正男 (神奈川工大) 振動騒音問題とTRIZ	13:00
14:00	xx 主会場、仲畑-小西 副会場、林-鹿倉 O-1 #10 宮西太一郎 (兼六中学) アメンボウの研究	14:00	O-11 #03 桑原正浩 (アイデア) 未来システムからの発想	14:00	O-19 #06 竹村政哉 (産能大) 製造・生産分野へのTRIZ	14:00
15:00	O-2 #02 Paul Devaraj (マレーシア) テストピンの再利用	15:00	O-13 #15 [VE協会 TRIZ研究会] 石井正之 (住友電工) 開発型TRIZ手法	15:00	O-21 #23 森久光雄 (SKI、京都大) TRIZの普及のための人間中心の考察	15:00
16:00	O-3 #01 井坂義治 (アイデア) 問題解決レベルの洗練化	16:00	O-15 #36 [創造研究会] 林 裕人 (アイウエル) 12の発明原理による発想プロセス	16:00	O-23 #25 松原幸夫 (新潟大) 教育における発明創造技法	16:00
17:00	O-4 #45 中川徹 (大阪学院大) 日本におけるUSITの発展	17:00	O-16 #18 高原利生 () 差異解消の理論	16:00	閉会挨拶 三原祐治	16:00
18:00	xx- ホール、三原-黒澤 18:10 夕食 & 交流会 (120分)	18:00	xx 主会場、池田 ポスター紹介 B 池田、前古、正木	17:00	凡例 (休憩時間): xx 20分 休憩 x- 15分 休憩 ===== 5分 休憩 (会場移動の余裕)	17:00
19:00	終了 20:10	19:00	xx 主会場、黒澤-三原 夕食 & 交流会 (120分)	18:00	凡例 (会場) 主会場: 副会場: ポスターとデモ会場: 昼食・夕食 (交流会):	18:00
20:00	20:20 Catherine Thom ギターコンサート (希望者のみ)	20:00	終了 20:40	20:00	凡例 (種別) チュートリアル 開会/閉会/協会総会 基調講演/特別講演 一般発表 (オーラル) ポスター、デモ 夕食 & 交流会 お楽しみ	20:00
21:00	21:20 Catherine Thom ギターコンサート (希望者のみ)	21:00	21:50 Catherine Thom ギターコンサート (希望者のみ)	21:00	凡例 (発表・投影言語) J 日本語のみ JE 日本語発表、並行投影 EJ 英語発表、並行投影 E 英語のみ	21:00

注: 本シートのスペースが限られているため、発表者名、所属名を簡略に記述しています。

また、発表テーマも正式の題名でなく、分野や特徴を示すキーワードで記述しました。ご了承下さい。

コード番号 I01や #01 は、アブストラクト集上での、招待発表または一般発表の番号です。